



てのひらバーテンダー

気分にあった最高の一杯の推薦

カクテル

機械学習

推薦

気分

●青地 美桜

●大村 優輝

●田尻 宗準

●片岡 伶詩

●齋藤 友宏

●中島 涼

●鈴木 直希

●長沼 一輝

●柳谷 吉風

●木村 泰雅

●福永 夏海

●曲山 久美子

●山口 梨奈

●未来大

●専修大

●神奈工

●法政大

01 てのひらバーテンダーとは

ふと**カクテル**を飲みたい気分になるが、何を飲むか迷ってしまう経験をしたことがある人もいるだろう。本サービスではユーザにいくつかの質問に答えてもらい、そのときのユーザの**気分**にあった**カクテル**を**推薦**することを目的としている。

02 利用形態

本サービスは、ユーザが質問に答えていき、その回答にあったカクテルを複数個**推薦**する。質問に回答後、カクテルがリスト形式で推薦され、その中から飲みたいと思ったものを選ぶ。画面上のカクテルをタップすると詳しい情報が得られる。

質問はユーザが飲みたいカクテルの特徴が分かるようなものになっている。ユーザ自身がどのような味が好きなのか、お酒をいつ（食前，食後）飲みたいのか，などを質問している。



03 実現するための技術と仕組み

●質問によるカクテルの決定

カクテルはユーザが4つの質問に回答すると1つ決定する。質問の選択肢はそれぞれ番号が振られており、選択肢を選んだ順序で数列が生成される。その数列には必ずカクテルが1つ割り当てられているため、質問に回答するとカクテルが1つ決定する。

●類似したカクテルの推薦

類似したカクテルは、前述の方法で決定されたカクテルの説明文と類似度が高い説明文を**機械学習**を用いて探し、類似度が高いカクテルから順に推薦する。カクテルの説明文とは、カクテルに使用されるリキュールやジュース，アルコール度数の目安などが書かれているものである。

類似したカクテルは、サービス開始初期では上記の方法で推薦するが、ユーザ数が増加した後は協調フィルタリングという方法でカクテルを推薦する。

●気分の判別

将来的には、気分や感情はユーザの表情分析や音声分析を使用して判別する。

04 ビジネスモデル

●収益モデル

現在はBtoCの形態としている。アプリの利用料は無料とし、収入源として以下の通りである。

- 広告収入
 - ーお酒関連（ベースとなるお酒や割り材）の広告を掲載（Amazonアソシエイトを使用）
- DLC（ダウンロードコンテンツ）
 - ーバーテンダーのキャラクター
 - ーホーム画面のバー背景画像
 - ーバーの内装（椅子など）

将来的には広告会社を挟まずに直接飲料メーカーと提携をし、推薦結果にメーカーの市販の商品を織り交ぜることで、BtoBtoCの形態に移行する。

●お金の流れ

